



http://www.amenity-network.net/
Amenity Network

【発行所】株式会社アメニティ
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町685
TEL:045-371-7676(代) FAX:045-371-7717
Copyright © 2004 AMENITY INC. All rights reserved.

トイレを楽しくする新聞

かわや版

KAWAYABAN

2025 夏号
Vol.115

特集 | NEW OPEN 2025.4.17

TOILET MUSEUM INAXライブミュージアム トイレの文化館





愛知県常滑市にあるINAXライブミュージアムでは、2024年にLIXILの日本国内の水まわり・タイル事業の100周年、2025年に衛生陶器事業80周年を記念して、2025年4月17日、7つ目の館となる「トイレの文化館」がオープンしました。日本のトイレの変遷とおもてなしの文化がつまった展示館をご紹介します。

INAXライブミュージアムは、やきものの街、そしてINAXブランドの発祥の地でもある愛知県常滑市にあり、土とやきものの魅力を伝える体感・体験型の文化施設です。既存の「窯のある広場・資料館」「世界のタイル博物館」「建築陶器のはじまり館」「土・どろんこ館」「陶楽工房」「やきもの工房」に続いて7つ目の「トイレの文化館」がこの度一般公開されました。

トイレの文化館では、江戸時代の木製便器、イギリスで発明された近代的な水洗トイレ、国産初の温水洗浄機能付き便器(シャワートイレ)や、世界に注目される日本独自の技術まで、日本のトイレの変遷がわかる貴重な約50点の実物資料が展示されています。

「不浄の空間だからこそ清潔に保つ、自然との調和や他者への配慮が表れている日本の心と技を感じてもらえれば」と話すのはINAXライブミュージアムの尾之内明美館長。新しいトイレの展示館のテーマを決めるにあたり、海外のトイレ博物館を訪れてリ

サーチしたそう。そこで、日本人の排せつ物との向き合い方は海外のそれとは違う、深いところでトイレへの思い入れの違いを感じたということでした。トイレの文化館では、日本人がトイレや排泄と向き合ってきた歴史や、世界と言われる日本の現在のトイレにいたる道筋を知ることができ、トイレファンならずとも興味深い展示になっています。

また、INAXライブミュージアムのある常滑は中部国際空港セントレアから目と鼻の先にあります。やきものにちなんだ見どころも多く、海外からのお

客様に対しても日本のトイレ文化の発信する基地となることが期待されています。



▲常滑市内のやきもの散歩道では、れんが造りの煙突や窯、陶器の廃材を利用した坂道などを散策することができます。



トイレの文化館入り口では明治時代後期の美しい染付便器と映像がコラボするインスタレーションがお待ち。

トイレ診断士
芸人
第27回

佐藤満春のトイレな話 シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

トイレとカビについて

佐藤 満春 (さとみつはる)
お笑いコンビどきどきキャンプの片割れ。趣味のトイレ好きが広がりを見せ、2011年11月電子書籍「佐藤満春のトイレ公論」を発表。自らもトイレ掃除に参加するなど自他共に認めるトイレ好きである。名誉トイレ診断士



トイレは水場なのでカビが生えやすい場所とも言えます。梅雨、そしてそこを超えると夏になりますが梅雨時に限らず湿度が上がりやすい場所なので注意が必要です。

カビの予防

まず予防的にできることは「換気すること」です。お風呂場でも言えることですが「湿度をあがったままにしないこと」はカビの発生条件を1つ消すことになるので換気が大切です。そのために当たり前のことなのですが「換気扇が正常に動いているか」をまずご確認ください。

トイレ内に物を置いている方は埃もカビが発生する原因の一つになりますので、まめに掃除をするなど気をつけてください。埃自体にカビが生え始めることもあります。

予防については「換気扇が正常に動いているか」「まめに換気をできているか」「埃がたまっていないか」を注視してみてください。

既にカビが生えてしまっていたら

便器内のカビに関しては塩素系のカビ取り剤を使っていただいで構いません。黒ズミも落とせるので定期的に塩素系の洗剤を使うのは第一歩かもしれません。(メーカーによっては中性洗剤のみの清掃を推奨してるところもあるのでトイレの説明書、ホームページなどご確認ください)

カベ(クロス)に生えてしまった壁は塩素系の洗剤を使わずまずは消毒用のアルコールやエタノールを少量、雑巾につけてから拭いてみてください。効果があると思います。アルコールは揮発性があるので湿度も上がりにくいです。

カビを広げないために

カビは孢子なので、1か所に生えたと増え続けています。これ以上カビを増やさないためには、トイレ内のカビを一掃することが重要です。除去した上で上記の換気などを

する「防止策」を講じていただければと思います。

素敵なトイレライフをお過ごしください。



編集
後記

INAX ライブミュージアムのある常滑は、「とこなめ陶の森」や「やきもの散歩道」など、街全体で陶器づくりの歴史を感じられるところでした。

特に土管や焼酎瓶、急須、井戸筒などで知られていて、民家の庭先や道端に使用済みの焼酎瓶でできた塀などがあり、その地ならではの情緒が感じられました。またゆっくり訪れてみたいところです。(セルベッチオ中嶋)

information!

INAXライブミュージアム企画展

昭和モダン、モザイクのいろどりー板谷梅樹の世界ー
2025年4月17日(木)～9月30日(火)まで、土・どろんこ館で開催中



あなたの町のアメニティネットワーク

コンナ イイ トイレ
アメニティ本部フリーダイヤル ☎0120-57-1110



↑江戸城の本丸御殿で将軍が使っていた木製の大便器「^{ひはこ}樋箱」を当時の絵図面を基に復元したものです。鳥居のような形をした部分は衣隠しと呼ばれ、着物の裾が汚れないように引っかけて使っていたといわれています。



←1914年には洋風水洗便器の国産化に成功。第二次世界大戦後には都市部の深刻な住宅不足を受け住宅団地が造成され、水洗化、洋式化が進みました。現在では洋風便器の出荷率はほぼ100%になっています。

←19世紀にロンドンでコレラ対策として下水道が整備されたことや、産業革命により都市化と工業化が進んだことを背景に、近代的な水洗トイレが生まれました。展示右は上部にあるタンクから水を流すハイタンク式のトイレ。

↓スイスで福祉用に販売されたシャワートイレをモデルにして常滑市の工場で開発されたサニタリイナ61。国産初の温水洗浄機能付き便器です。



撮影：尾鷲 陽介

窯のある広場・資料館

土管を焼いた大正時代の窯と建物を保存し公開しているこちらはINAXライブミュージアムのシンボル。上水道や下水道など、日本の近代化を縁の下から支えた土管製造を映像や実際に用いた道具などで伝えています。



とうかくこうぼう
陶楽工房では、陶器製のミニチュアトイレやタイルに絵付けをするなど、陶を用いたものづくりを体験することができます。



まとめ

日本のトイレ文化の源流をたどることのできるトイレの文化館でした。

INAXライブミュージアムには紙面ではご紹介しきれない魅力がいっぱいでした。夏休みにINAXライブミュージアム、そしてトイレの文化館に足を運んでみてはいかがでしょうか。

Information

所在地：愛知県常滑市奥栄町1-130
TEL: 0569-34-8282
休館日：水曜日(祝日の場合は開館) 年末年始
共通入館料：一般 1,000円、学生 800円、
中高生 500円、小学生 250円



焼き立てパンと心地よい時間

株式会社ヴィ・ド・フランス 様

- 設立：2001年7月
- 住所：東京都江戸川区西葛西六丁目19番6号パン科学会館2階
- URL：https://www.viedefrance.co.jp/company/

お客様訪問 No.52

「ヴィ・ド・フランス」様は全国で200店舗以上を展開するベーカリーチェーンです。今回は千葉県にあるヴィ・ド・フランス新鎌ヶ谷店をお訪ねして、エリアマネージャーの清水高穂様にお話を伺いました。



▲清水高穂エリアマネージャー

■現在パンの売上げが大変好調だとお伺いしました。

はい、おかげさまで新業態の「トムキャット」も好調ですし、会社全体としても業績は伸びています。要因の一つとしてはお米の価格の上昇があります。昨年の夏ごろ、ちょうど米不足が囁かれ始めた時期から特に惣菜パンの伸び率が高く、主食としての需要が増えているようです。



■2020年からのコロナ禍では大変な打撃を受けられましたよね。

弊社の店舗は駅に立地しているため、リモートワークの普及で駅の利用者が減ったことで直接的な影響がありました。併設の喫茶スペースも営業できませんでした。店舗にもよりますが、体感では売上げが通常の4分の1にまで落ち込んだといった感覚です。企業の存続すら危ぶまれるほどでした。とにかく経費を節減し、採算が取れない店舗は閉店しました。申し訳なかったのですが、そ

れまで20年近く続けていたアメニティさんのトイレ定期診断管理サービスも中断せざるを得ませんでした。

■それが2024年には再開していただいて、ありがたいかぎりです。

はい、2023年には売上が回復傾向にあり、単に費用を削減するだけでなく、必要な部分には投資すべきだと考えました。駅構内の店舗はトイレの利用頻度が高く、その清潔さが非常に重要です。私どもの店舗では、スペースの都合で男女兼用のトイレがひとつしかありません。利用者の8割が店舗の清潔度に敏感な女性ということもあり、トイレメンテナンスサービスをなんとか再開させてほしいと本社の会議で提案しました。

■トイレメンテナンスサービスの再開後はトイレの状況はいかがでしょうか。

まずは店舗スタッフから「トイレの臭いなくなった」「空気がクリアになった」という声があがりました。私もそれは感じました。それを聞いた他のエリアのマネージャーたちも「うちもやろう」という話にすぐなりました。他のマネージャーもトイレをなんとかしたいという考えを持っていましたね。

■普段のお店の衛生管理はどのようにされているのでしょうか。

コロナ以降、お客様の衛生意識はトイレも含めて高まっているという認識です。そのため、トイレに限らず店舗全体の衛生状態を高く保つことを非常に意識しています。お客様がいらっしゃるだけでもそちらの対応が優先になってしまいますが、スタッフのシフト内で清掃の担当を割り振り、店舗を常に清潔に保つようにしています。マンスリーで清掃する箇所も決まっていますし、清掃の状況は社内のSNSツールで写真付きで定時報告するようになっているので本部の方でも清掃状況を詳細に管理することができています。



■トイレに関してはいかがでしょうか。

トイレの清掃は1日に1回で、あとはペーパーの補充など簡単なものです。だからこそ月1回、アメニティさんに診ていただいていることが大事になります。店舗側ではトイレの専門知識はないので正常なのかそうでないのかわからない。コロナ禍でサービスを一時停止していた時は、トイレの軽微な不具合に気づかずに放置してしまい、お客様からの指摘で気づくという最悪のパターンもありました。今は我々では判断のつかない不具合なども指摘していただけるし、少額の決済でしたら稟議を通さずにすぐに修理してもらうようにしたので、大変助かっています。メンテナンスを再開してから1年間、トイレに関するクレームは1件もありません。これからも、トイレに対して厳しく診ていただければと思います。

■本日はありがとうございました。

